

VOL.225 9/4(水)
2019年/令和元年
毎月第1水曜日発行
(創刊平成13年1月)

ふれあい毎日

地域密着型の情報紙として教育・環境・福祉をテーマに、心温まる話題をおとどけています。

(株)東葛毎日新聞社「ふれあい毎日」

発行所 〒277-0843 柏市明原2-3-14-203

発行エリア=市川・浦安・船橋・習志野・鎌ヶ谷・八千代・佐倉・白井・成田・印西・酒々井・富里・栄の13市町6万部発行

毎日新聞

千葉西部毎日会協賛
年間購読料 3150円

BATHCLIN
バスクリン
公式通販ショップ
バスクリン 通販

いきもの写真館
あたり前の風景に
あたり前の生き物に
あたらしいときめきがある！
ノブドウ
実が白や紫、青などに色づくツル植物です。
ためしに白い実を口に含んだ時は、甘く、硬いタネがありました。

対馬丸記念会の高良政勝理事長(79)と上野さん。高良さんは一緒に乗船して命を落とした家族9人をはじめ、犠牲者に思いをこめて「これからも争いや戦争のない世界を希求する」と語った慰霊祭。

太平洋戦争終結の1年前の1944年8月22日、学童疎開船「対馬丸」が鹿児島県トカラ列島の悪石島近くで米軍の魚雷により撃沈され、国民学校の子供や引率教員、一般家族での疎開者ら1485人の尊い命が失われた事件をご存じだろうか。

上野和子さんのお話
1944年8月21日18時35分、学童疎開船「対馬丸」は総勢1788名を乗せ、長崎に向かって出航。疎開学童を乗せた対馬丸、和浦丸、暁空丸と、その他に2隻の護衛船の5隻の船団でした。
しかし、翌22日の夜10時12分、悪石島付近で米軍潜水艦「ボフィン号」に、老朽化していた対馬丸が攻撃され、多くの乗船者が海に投げ出された。対馬丸は11分後に完全に沈没。二次被害を恐れ、護衛船も含め、他の船が遭難者を救助することはありませんでした。

「沖縄・スペインの音楽と映画の集い」
対馬丸遭難遺族を迎えて
28日(土)14時~ 勝田台プラザ2階音楽室 (入場無料)



沖繩だと判断した政府は、疎開を国策として早急に進めるよう県に通達。1944年7月19日、日本本土への米軍上陸を何としても止めなければならぬと、政府は10万の兵士を沖繩に投入する計画を立てました。
食糧は軍優先のため、戦力にならない老幼婦女子は、沖繩県外疎開を半ば強制されたのです。次代の戦力確保に学童疎開は重要事項でした。突然の疎開勧奨に学童の希望者は集まらず、教師たちは、海の不安に躊躇しながらも、国家命令だからと家庭を訪問し、家族を説得して歩きました。
こうして集められた子供たちは修学旅行気分に対馬丸に乗船し、「雪が見られる」「電車に乗れる」「勉強が出来る」と大はしゃぎしながら将来の夢を語り合っていたと、乗ったという話です。



先月22日の海賊の戦利品

千葉の海で「大暴れ」
現代版『令和海賊』は「ゴミを拾う」!?
一般社団法人日本海洋環境保全協会 代表理事 阿部夏之介さん
千葉の湾岸エリア、主に行徳港を基点に、港やその周辺への不法投棄や不法係留、放置ゴミ、漂着ゴミなどを回収して、美化活動を続けている青年ら

「マリンスポーツの好きな私たちには、千葉の湾岸エリアは自由な遊ぶところ。自らは『令和海賊』と名乗る人たちの活動を追った。
「マリンスポーツの好きな私たちには、千葉の湾岸エリアは自由な遊ぶところ。自らは『令和海賊』と名乗る人たちの活動を追った。

港におどろき
首都圏近郊、特に千葉県は海岸や港に恵まれて楽しい遊び場にあふれている。「潮干狩りや釣り、ボート遊び、カヌーやウェイクボード、クルージング等々。その反面、危険な構造物や放置ゴミ、漂着ゴミは多く、海に落ちた時に大げさな事が多い。本日は友だちや子供たちと、もつと海で遊びたい」と語る阿部さんは、自らも2児の親だ。
湾岸エリアは行政の力がまだまだ及ばず、管理者の権利関係が非常に複雑だ。漁港、漁協、自治体、道路公団、国交省、企業等々、あらゆる管理者の権利が入り乱れていて、それが障害になり、一向にゴミ問題が改善されないのが現状だ。
見かねた阿部さんは「じゃあ俺たちが勝手に片付けるよ」となり、2年前から活動を始めた。現代版海賊『令和海賊』を名乗ることにした。自分たちの遊んでいる港からきれいにしよう！
海で回収したゴミには係留ロープや漁網など、リユースできる物がたくさんある。実際、利用できるものは再利用したり、アクセサリーに加工して、セサリーに加工している。再利用できないごみは処理業者に10円あたり216円出して引き取ってもらう。
「今は、もつとこの活動を広めたい。クラウドファンディングで活動資金を募り、地元企業の協力を得て、他の未整備な港の美化活動へと広がっていきたくて、抱負を語る。
「そう考えるだけで毎日ワクワクする。毎日のワクワクは、お金よりも価値がある」と阿部さん。現代版『令和海賊』はお宝を日々探し続け、同じ志の仲間を募り、小型旅客船や遊漁船の運行活動を行うと共に、海の好きな仲間と共に美化、啓蒙活動を広く展開させようとしている。
この7月には、海洋環境の実態を広く世の中に認知させ、改善することを目的に、一般社団法人日本海洋環境保全協会を立ち上げた。既存の枠組みに囚われず、「人と海の玄関口」である津々浦々の港に、彼らの船を係留し、その港をきれいで安心して遊べる場所に変えていくのが目的だ。
▽問合せ 09081103078(阿部さん)。

ジュエリーリフォーム専門店 エンジェルクラフト
おかげさまで15年
信頼の9000件以上の実績
昔の高いダイヤ立爪、古い形のリング、ペンダントを最新のデザインにリフォームできます。
TEL 047-460-6256
千葉県船橋市宮本4-2-11

日帰り
いまだけのハッ場ダム工事現場見学(ガレ同行)と
高級ブドウ「藤稔」狩り・カリカ梅
国土交通省関東地方整備局ハッ場ダム工事事務所のやんばコンシェルジュご案内ツアー。
10月以降の開催は未定。最後のチャンスかも!!
藤稔は甘味も味も濃い高級品質の大粒ブドウです。
◆コース/新宿駅前8時発<貸切バス>
赤城フーズ(元祖カリカ梅工場見学)=原田農園(昼食、藤稔狩り)⇒1房お土産と試食も)=ハッ場ダム(普段は入れない工事現場内へコンシェルジュのご案内)=新宿20時頃
◆食事/昼食付き
◆添乗員同行 ◆最少催行人員:20名 ◆利用バス会社/弊社協力バス会社予定
◆申し込み/毎日新聞旅行「ふれあい」係(9時30分~17時30分、土曜9時30分~12時、日祝休み) 後援:東葛毎日新聞社
コースNo.【C1107-53】まいたび ☎03-6265-6966